

平成 21 年度

**優れた教育活動表彰**

## 1 学校（10校）

学 校 名	学校長氏名	表 彰 の 理 由
松江市立城北小学校	瀧 野 眞理子	平成13年度に松江市の「学校図書館整備事業に関するパイロットモデル研究」の指定を受け、学校司書を配置し学校図書館の充実と読書活動の推進に取り組んだ。平成18年度からは「学校図書館支援センター推進事業」の協力校として、学校司書・図書館ボランティアとも連携を図りながら全校体制で図書館を活用した学習活動や読書活動に取り組んでいる。読書好きな子どもが多く育ち学力面での思考力や表現力を高めることにつながっている。県内の小中学校のモデル校として島根県の学校図書館教育に大きく貢献している。
松江市立法吉小学校	奥 村 和 久	1年生から6年生までの各学年で、公民館を中心とした地域の各団体等と密接な連携を図ってふるさと教育に取り組んでいる。子どもたちが高齢者の方などと直接触れ合う中で、地域の様々な人々の生き方に学ぶことができるような活動を行っているとともに、校地内での栽培活動等にも地域の方々がサポーターとして密接にかかわっている。平成18・19年度の文部科学省人権教育研究指定校の取り組みをきっかけに、活動がいっそう充実している。
浜田市立上府小学校	米 原 邦 登	「人とかかわりながら、思いやりの心をもち、共に伸びようとする子どもの育成」を研究主題とし、教育活動を展開している。地域の方々との年間をとおした交流活動を実施し、米作りや収穫祭などを行った。また校区内の障害児施設との交流会などをとおして、ひとや自分を大切にすることを育成している。各教科等においても地域の資源を教材化し、人とのかかわりを大切にし、地域に愛着と誇りをもつ児童の育成に努めている。地域に向けて「学校だより」等を用いた情報発信を行い、地域のふるさと教育を進める上で他校のモデルとなっている。
出雲市立荒木小学校	須 佐 公 和	コミュニティセンターと連携・融合した学校支援ボランティア支援体制組織を確立しており、年間の活動計画作成から参画している。年間を通して計画的・継続的・組織的なふるさと教育活動を展開しており、「ふるさと教育講座」等の機会を通して情報発信している。公民館との連携についての小中学校にとって示唆に富む実践を積極的に行い、島根のふるさと教育のモデルとして貢献している。

学 校 名	学校長氏名	表 彰 の 理 由
大田市立大森小学校	坂 根 幸 夫	昭和44年に全校児童による「石見銀山遺跡愛護少年団」を発足し、40年にわたり全校を挙げて石見銀山遺跡の清掃活動や広報活動を行っている。月1回の旧跡や遊歩道の清掃や、年2回の地域の高齢者とともに行う史跡清掃、大森の歴史や文化について学んだことを劇にして学習発表会や地域行事で披露するなどの活動を行っている。これらの地域をあげての活動は世界遺産保全に大きく貢献している。
東出雲町立揖屋小学校	加 納 敏 視	平成18年度から学校司書を配置し、学校図書館の整備・充実を図るとともに、司書教諭を核として学校司書の支援のもと、全校体制で読書活動や学校図書館を活用した教育に努めている。「読書センター」としての機能とともに、児童の情報リテラシーを育成するための調べ学習が系統的・計画的に取り入れられ、「学習センター」としての機能も向上している。図書館の利用が身近になり、読書を進んで行う姿勢や確かな学力の向上につながっている。これらの取り組みは県内外から注目されており、県内のモデル校として県全体の学校図書館教育に寄与している。
隠岐の島町立中村小学校	野 津 幸 恵	平成18・19年度の文部科学省「豊かな体験活動推進事業」での取り組みで重点とした“地域の方との交流”をベースにして、民謡の歌や踊り、ヨット体験やキャンプ等、地域独自の資源を活用し、体験を重視した活動を行っている。平成20年度は、ふるさと教育で学んだ成果を披露する祭りを学校が主催し、学校が世代を越えた多くの住民が集まる場となっており、地域とともに活動する学校として貢献している。
益田市立匹見中学校	沖 田 将 文	地域の協力のもと、神楽の練習を続け、伝統芸能継承の一翼を担っている。昭和47年度から38年間、姉妹都市である大阪府高槻市の「高槻祭」で市民の前で神楽を披露し、交流を深めている。現在は「高槻祭」で匹見の特産物を販売するなどの体験活動を取り入れている。ふるさとについて調べ表現する活動を通して、ふるさとに愛着と誇りをもつ子どもの育成に大きな成果を上げている。

学 校 名	学校長氏名	表 彰 の 理 由
東出雲町立東出雲中学校	大 森 栄 二	平成18年度から文部科学省指定「学校図書館支援センター事業」の指定校となったことを契機に学校司書と教職員が一丸となって学校図書館の読書センター・学習センターとしての機能充実を図った。町内3小学校との連携を密にし、小中一貫した読書活動、学校図書館活用教育推進の中核を担っている。全教科で図書館を活用する授業などの取り組みは県内外から注目され、県内の各学校のモデル校として、積極的に視察を受け入れ、県全体の学校図書館教育に寄与している。
島根県立隠岐島前高等学校	石 田 和 也	島前地域とともに歩む高校として、地域全体に支えられ、住民と一体となって教育活動に取り組んでいる。平成21年度は「観光甲子園」をテーマに掲げて取り組み、全国69校157プランの中から本選に出場した全国の上位10校の中で見事グランプリを獲得した。グランプリ受賞プランはふるさと教育を中心に据えたものであり、生徒を大きく成長させるとともに、地域の活性化に貢献している。

(注) 上記の掲載順は、小・中・高、かつ建制順による。

## 2 団体（5団体）

団体名	代表者職・氏名	表彰の理由
島根県教育研究会	松江市立第一中学校校長 永島 典男	島根県の国公立小中学校教員により昭和35年に発足し、今年50周年を迎えた。教員の研修の充実を図り、教育の振興に努めている。毎年県下各地で研究大会を行い、その時代の教育課題に応じた指導方法の開発と提唱に努めている。県はもとより、市郡・町村・学校単位の教育研究の活性化と、教員の資質向上、研修意欲の喚起に大きな成果をあげている。
島根学校教育相談学会	松江市立島根小学校校長 繁浪 啓子	教育相談の力量を高め、地域や学校で実践しようとする島根県内の教員により平成2年に発足した。毎年主催する年2回の研修会をはじめ、県内6地区で定期的な研修会を実施し、会員だけでなく広く一般の教職員に研修機会を提供している。会員は互いに学びを深め、学校で生徒指導・教育相談の中心的役割を担うなど、本県における生徒指導・教育相談の牽引役となっている。
東出雲町学校図書館支援センター	原田 由紀子	学校図書館教育において、島根県内で先駆的な取り組みを行う東出雲町の学校図書館を支援してきた。町内4つの学校の取り組みをつなぎ、特に、児童生徒の情報活用能力の育成に重点を置いた学校図書館を活用した教育の支援を行っている。設立から4年目になるが、小中の連携を図った取り組みが定着し、児童生徒の学校図書館活用能力の充実、教職員の意識の高まり、図書資料のネットワーク化など、支援センターが果たした役割は大きい。全国的にも注目され、県内外からの視察や問い合わせも多く、他のモデルとなっている。
あらなみ編集委員会	西ノ島町立黒木小学校校長 永海 尚二	島前地区の小中学校教職員で組織されており、地区の全小中学校の学級担任や国語科担当教員の協力を得ながら、児童生徒の作文集「あらなみ」の編集・発行を行っている。昨年度60周年記念号が発行された「あらなみ」は、昭和25年の第1号発行以来、多くの教職員の熱意と努力によって引き継がれた作文集であり、多くの児童・生徒・保護者・地域住民に親しまれている。
隠岐の島町学校保健連絡協議会	隠岐の島町立都万中学校校長 富田 績	島後小中学校保健連絡協議会を前身とし、地域の小中学校の学校保健活動の連絡提携及び振興を図ることを目的に設立から29年間、継続した活動を展開してきた。各学校の校長・保健主事・養護教諭の他、学校医・歯科医・薬剤師・栄養士、さらに町行政関係者を会員として、学校間の連携はもとより、地域の関係者と幅広く連携し、広い視点をもって学校保健活動に取り組んでいる。

(注) 上記の掲載順は、団体の所在地の建制順による。

### 3 個人（7名）

氏名	所属・職	表彰の理由
勝部 秀子 <small>かつ べ ひで こ</small>	島根県立出雲高等学校 教諭	<p>自然科学部の部活動を通して、生徒に化学の魅力や環境を考える姿勢・態度を育成することに貢献してきた。長年「出雲高校周辺の大気調査」の指導を行い、その作品は全国規模の審査会で高い評価を受けた。また、理数科の医学部等での校外学習などを推進し、生徒の理系分野への興味・関心を高める取り組みの中心となり、理科に興味・関心を持つ多くの生徒を育てるなど、長年に渡って高校の化学教育の水準引き上げの牽引役として活躍している。</p>
齋藤 純子 <small>さい とう すみ こ</small>	益田市立安田小学校養 護教諭	<p>平成8年度に「保健室における相談活動の進め方」、平成20年度に「心の健康づくりをめざした校内外の組織体制づくり」という研究実践を民間の論文募集に応募し、それぞれ特選を受賞。</p> <p>全国学校保健研究大会では、メンタル面で支援を必要とする子どもへの対応例を広く紹介した。校内組織と校外機関との連携の大切さを強調し学校全体の問題として取り組む組織づくりに貢献している。</p>
立脇 わたる <small>たて わき わたる</small>	島根県公立小中学校事務 職員研究会会長（大 田市立鳥井小学校事務 リーダー）	<p>県内事務職員で構成される島根県公立小中学校事務職員研究会の事務局長、同研究会会長を長年務めており、現在は全国公立小中学校事務職員研究会島根支部長、大田市小・中学校事務職員会長を務める。行政や校長会と密接に連携し学校事務の共同実施による円滑な実行体制の構築や課題解決に尽力している。地域・県内はもとより、全国の事務職員の資質向上や学校事務の運営改善・効率化に貢献している。</p>
田中 正樹 <small>た なか まさ き</small>	島根県立松江東高等学 校教諭	<p>平成15年度に、松江東高校がSSH（スーパーサイエンスハイスクール）の指定を受けて以来、研究の中心的役割を担ってきた。身近な教材を用いて生徒に科学的思考を体験させる新しい授業を開発している。また、自然科学部を指導し、平成16年度に日本物理学会Jrセッション研究発表会で「世界物理年特別賞」を受賞した。平成19年度以降はSSH企画部長として研究開発を推進し、大学との連携事業に携わるなど島根県のSSH事業の推進に尽力している。</p>

氏 名	所属・職	表彰の理由
はやし よし こと 林 良 子	学校図書館協議会 小 学校部長（松江市立宍 道小学校教諭）	<p>学校図書館と学習活動を結ぶコーディネーター役として、学校の読書活動や学校図書館活用教育の推進に尽力している。司書教諭講習や教育センター研修での講師を務め、「授業における図書館活用の在り方」や「司書教諭の役割」等の講義を行っている。島根県学校図書館協議会の小学校部長として県内の学校図書館教育の研究や読書活動の推進にかかわる諸事業に寄与し、平成21年度は県の学校図書館支援会議の委員として司書教諭の立場から具体的な提案を行うなど、県全体の学校図書館教育の推進に大きく貢献している。</p>
ひ もの ひろ こと 檜 物 ひろ子	島根県立松江工業高等 学校定時制養護教諭	<p>「心の健康を増進させる教育活動」やAIDS教育に取り組んでいる。海外のHIV感染者と主治医との交流を実践したり、世界エイズデイシンポジウム（東京）でパネリストとして活動報告をするなどした。</p> <p>また、スクールカウンセラーによる教育相談活動を推進するなど、健康管理、保健指導、健康相談等に熱心に取り組み、生徒の心の支えになっている。</p>
やま だ さち え 山 田 幸 恵	益田市立美都中学校養 護教諭	<p>保健学習での「傷害の防止」「心と体の安定を図る食育活動」についての発表や、「生活習慣改善フォーラム」でのパネリストとしての参加など児童生徒の実態に基づく豊富な実践により、健康教育の充実、発展に寄与している。</p> <p>保護者や関係機関、地域を巻き込み、幼・保・小・中・地域と連携した取り組みは、他への啓発となっている。</p>

(注) 上記の掲載順は、五十音順による。